

永福YA通信
特別号！

リアル中学生が

おすすめする本

向陽中編

<杉並区立向陽中学校の紹介>

向陽中学校は、70年の歴史を持つ中学校です。生徒たちは、広い運動場のもと、地域の方々に温かく見守られながら、シンボルの「ひまわり」のように何事にも明るく積極的に取り組んでいます。

向陽中学校 学校司書

<特別号に寄せて>

今回、向陽中学校の生徒さんが、おすすめの本を紹介してくださいました。向陽中とは2回目のおたより制作です。

永福図書館YAコーナーでは、「つぶやきBOX」を設置しています。

この特別号を読んだ感想をお寄せください。また、皆さんのおすすめの本もぜひ紹介してください。

永福図書館 館長

永福YA通信 2017年 特別号

「リアル中学生がおすすめする本 向陽中編」

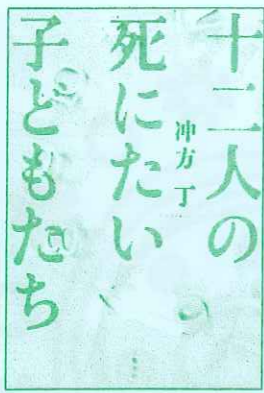
編集・発行：杉並区立向陽中学校・杉並区立永福図書館

【杉並区立永福図書館】

〒168-0064 東京都杉並区永福4-25-7

☎ 03-3322-7141

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。



請求記号：ウ 085

『十二人の死にたい子どもたち』
冲方丁/著 文藝春秋

廃業した病院にやってくる、十二人の子どもたち。初対面であるみんなの目的は、共に安楽死をすること。だがそこには、いるはずのない十三人目の少年が横たわっていた。十人十色の子どもたちは、一体どうするのか？

【永福スタッフのコメント】

子どもたちの死にたい事情に、現代社会の抱える問題が見えます。大人にも読んでほしいと感じました。



請求記号：BGタ

『夜は短し歩けよ乙女』
森見登美彦/著 角川書店 角川文庫

「ナカメ作戦」とは何のことかお分かりだろうか。それは「なるべく彼女の目にとまる作戦」の略称である。主人公がある一人の女性の気をひこうと奮闘する物語。空回りする主人公に笑わずにいられない！！

【永福スタッフのコメント】

空回りの主人公の恋の行方は？ 二人を取り巻く他の登場人物も個性豊かで面白いです！



請求記号：BGア

『塩の街』
有川浩/著 角川書店 角川文庫

有川浩といえば『図書館戦争』。読んだ人も多いのではないのでしょうか。そんなあなたにおすすめ！思わずにやけちゃうような恋模様がここでもみられます。図書館戦争だけじゃもったいない、こちらもぜひ！！

【永福スタッフのコメント】

有川浩のデビュー作。著者が初めて『上手に書こうではなく、書きたいように書こう』と思った作品だそう。ぜひ、読んでドキドキしてください！



請求記号：ス 176

『また、同じ夢を見ていた』
住野よる/著 双葉社

学校に友達がいないう私が出会ったのは、手首に傷がある「南さん」、とても格好良い「アバズレさん」、一人暮らしの「おばあちゃん」。そして、尻尾の短い「彼女」だった。話題作「君の臓腑をたべたい」の作者による第二作！

【永福スタッフのコメント】

前作と違う！良い意味で裏切られました。



請求記号：ツ 096

『光待つ場所へ』
辻村深月/著 講談社

大学二年の春。清水あやめは人生初の敗北感を味わう。プライドが高くて自分の気持ちに素直になれない三人それぞれの成長物語。青春の息苦しさが巧みに表現され、新しい一歩を踏み出す勇気がもらえる。

【永福スタッフのコメント】

辻村作品のスピノフ短編集。単独でも面白いですが、元の本も読んだら更に堪能できそうです。



請求記号：BGカ

『世界から猫が消えたなら』
川村元気/著 小学館 小学館文庫

余命わずかのぼくに訪れた悪魔。彼は何かを消すことの引き換えに1日の命をくれる。でも姿を消すたびに分かる大切さ。チョコレート、時計など色々な物を消すが、僕の世界ががらりと変わってしまう…泣ける不思議な物語。

【永福スタッフのコメント】

自分が死んでしまう際には誰を思うのかな？と考えてしまいました。



請求記号：BGモ

『喜嶋先生の静かな世界』
森博嗣/著 講談社 講談社文庫

大学4年のとき、卒論のために配属されたゼミで、僕は喜嶋先生と出会った。広がった未知の世界。寝食を忘れて没頭した研究。喜嶋先生の言葉の数々。純粋で、美しく洗練された世界を、不思議な感動とともに描く。

【永福スタッフのコメント】

理系の人も、そうでない人にも静かな世界を体感してほしい。そこには、まだ見ぬ世界が広がっています。



請求記号：BRフ

『ロスト・シンボル 上・中・下』
ダン・ブラウン/著 角川書店 角川文庫

先日公開された映画「インフェルノ」の作者が送るミステリー。世界的秘密結社フリーメイソンの秘宝を巡る物語。秘宝であるピラミッドは、世界中に大打撃を与える秘密を持っている。果たして、その真相とは…？

【永福スタッフのコメント】

スピード感のあるストーリーにぐいぐい引き込まれます。



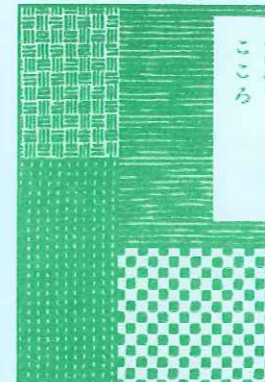
請求記号：914.7 サト

『九十歳。何がめでたい』
佐藤愛子/著 小学館

九十歳になっても元気に生きる佐藤愛子さんの人生の体験談。若者には分からない、長く生きているからこそ分かる社会の矛盾。私達が便利な世の中で生活し、忘れてきている大切な事を思い出させてくれる素敵な本です。

【永福スタッフのコメント】

こんな九十歳になりたい！と思う人も多いのでは。



請求記号：BGナ

『ころ』
夏目漱石/著 角川書店 角川文庫

「自分は寂しい人間だ。」「恋は罪悪だ。」断片的な言葉の羅列にとまどいながらも、奇妙な友情で結ばれている先生と私。時代を越えて読み継がれる夏目漱石の最高傑作。先生独自の不思議な世界にさあ、行ってみましょう！！

【永福スタッフのコメント】

「ころ」って一体何なのでしょう。読むたびに深みにはまっていくようです。



請求記号：BGオ

『杉原千畝』
大石直紀/著 小学館 小学館文庫

第二次世界大戦直後、東欧のリトアニアで実際に起きた物語。主人公の千畝が、ナチスの迫害から逃れてきたユダヤ難民に自らの判断で行ったこととは？なぜ世界はこんなに千畝を称賛しているのか？勇気あふれる男の物語！！

【永福スタッフのコメント】

勇気とは？思いやりとは？行動することの大切さを教えてください。



請求記号：ア 443

『星やどりの声』
朝井リョウ/著 角川書店

海に見える町で、喫茶店「星やどり」を営む三男三女母ひとりの早坂家。常連のおじいさんが来なかったときから一家の幸せは崩れはじめる。そんなある日、亡き父の残した奇跡が降りかかり…？心温まる家族の物語。

【永福スタッフのコメント】

それぞれ思う事はあっても、芯では繋がっている様子が描かれていて、家族っていいなと思えます。



『響け! ユーフォニアム 1~3』
武田綾乃/著 宝島社 宝島社文庫

昔から無気力で、人に流されてばかりだった黄前久美子。高校でも成り行きで吹奏楽部に入部。弱小だった部は新しい顧問によって活気と実力がついてきた。そんな部活と友達に関わるうちに、久美子の心も変わっていく。

【永福スタッフのコメント】

友達関係や恋愛に悩む高校時代を思い出して、懐かしくなりました。

請求記号：BGタ



『ナミヤ雑貨店の奇蹟』
東野圭吾/著 KADOKAWA 角川文庫

少年3人が忍び込んだ廃屋は過去と未来が手紙でつながる不思議な雑貨店だった。次第に明らかになる雑貨店の秘密。最後に再び奇蹟を起こせるか!? もっとも泣ける感動ミステリー!

【永福スタッフのコメント】

予測のつかない展開にページをめくる手が止められませんでした。

請求記号：BGヒ



『君の臓腑をたべたい』
住野よる/著 双葉社 双葉文庫

今大注目の若手小説家住野よるの大ベストセラー。この題名におとらない、悲しい現実と、そこから生まれるさらなる悲劇。ありとあらゆるところにちりばめられている伏線がラストの感動を生み出す。

【永福スタッフのコメント】

ラストは思わずホロリ。

請求記号：BGス



向陽中学校
学校司書の先生おすすめの1冊

『メディチ家の紋章 上・下』

テリーザ・プレスリン/作
金原瑞人・秋川久美子/訳 小峰書店

舞台は16世紀イタリア。主人公マッテオは襲われて川に落ちたところを巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチに助けられて…。マッテオの秘密とは? 狙われている理由は? 数々の謎と冒険に最後までぐいぐいひきこまれます。

画像は上巻のものです

請求記号：930フ



『陽だまりの彼女』
越谷オサム/著 新潮社 新潮文庫

幼馴染の男女が十年ぶりに再会。冴えない彼女はこの十年でとても成長し、大変身をとげていた。だが彼女はとてつもない過去を抱えていた。好きになる気持ちと切なさがつまった“完全無欠”の恋愛小説。

【永福スタッフのコメント】

映画にもなった作品ですね。恋愛小説をあまり読まない人にもおすすめ!! 何度も読んで欲しい一冊です。

請求記号：BGコ



『萩窪シェアハウス小助川』
小路幸也/著 新潮社

「やりたいこと」「夢」特になし。自慢は家事の腕前だけ。そんな佳人が始めた見ず知らずの男女6人+管理人のタカ先生との共同生活。不器用な若者たちの成長を温かい視線で描ききった長編エンタメ!

【永福スタッフのコメント】

読んでいて心地よいお話です。人生、何が起こるか分からない…。

請求記号：シ 238



『カラフル』
森絵都/著 文藝春秋 文春文庫

ある日、僕の魂は抽選に当たった。死んだはずの僕は、自殺を図った少年、真の体を借りて自分の生前の罪を思い出すことになる。僕は一体だれなのか。真にかくされた秘密とは一体…。生きるとは何かを教えてくれる物語。

【永福スタッフのコメント】

読み終わった後、自分自身も周りの人も全てが今までとは違ってみえるかも。

請求記号：BGモ



『ハルさん』
藤野恵美/著 東京創元社 創元推理文庫

「瑠璃子さん、今日はね、ふうちゃんの結婚式なんだよ…。」幼い頃にお母さんを亡くした家族のお話。お父さんと娘の二人三脚の日々を描いた、ホッコリしたり、びっくりしたり、心に残る物語。

【永福スタッフのコメント】

ハルさんとふうちゃんのやり取りに、自然と笑みがこぼれます。

請求記号：BGフ